

社会資本総合整備計画

平成 26 年 2 月 25 日

計画の名称	三木市における安全・安心な下水道施設の構築（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	三木市
計画の目標	老朽化した下水道施設の改築・更新を実施し、災害に強い下水道施設の構築を図る。		

計画の成果目標（定量的指標）	① 対象地区における污水管渠の詳細調査を平成26年度までに21,000m実施し、長寿命化計画を策定する。（対象地域は、自由が丘地区・緑が丘地区） ② 対象地域における雨水管渠の詳細調査を平成26年度までに10,000m実施し、長寿命化計画を策定する。（対象地域は、自由が丘地区・緑が丘地区） ③ 対象地区における污水管渠の長寿命化対策を実施する。（対象地域は、自由が丘地区・緑が丘地区） ④ 対象地区における雨水管渠の長寿命化対策を実施する。（対象地域は、自由が丘地区・緑が丘地区） ⑤ 対象地区における污水マンホール蓋の長寿命化対策実施に向けて、詳細調査を実施する。（対象地域は、自由が丘地区・緑が丘地区・青山地区・別所町巴地区） ⑥ 処理場の長寿命化対策を実施する。 ⑦ 処理場建屋の耐震化に向けて、耐震診断を実施する。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
① 対象地区における污水管渠長寿命化計画策定率 調査済污水管渠延長 (m) / 対象地区の污水管渠延長 (m) (対象地区の污水管渠延長 L=58 km)	0%	-	20%							
② 対象地区における雨水管渠長寿命化計画策定率 調査済雨水管渠延長 (m) / 対象地区の雨水管渠延長 (m) (対象地区の雨水管渠延長 L=10 km)	0%	-	100%							
③ 対象地区における污水管渠の長寿命化対策率 健全（改築済）な污水管渠延長 (m) / 対象地区の污水管渠延長 (m) (対象地区の污水管渠延長 L=58 km)	0%	-	4%							
④ 対象地区における污水マンホール蓋の詳細調査実施率 詳細調査実施済マンホール蓋数 (箇所) / 対象地区のマンホール蓋数 (箇所) (箇所 0)	0%	-	100%							
⑤ 処理場の長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場 (箇所) / 長寿命化計画を策定すべき処理場 (箇所) (1箇所)	0%	50%	100%							
⑥ 流域関連雨水計画区域の整備達成率 整備済面積 (ha) / 雨水事業計画区域面積 (ha) (A=1, 325.5ha)	33%	-	35%							
⑦ 処理場建屋の耐震診断進捗率 耐震診断実施済みの処理場 (箇所) / 耐震化対策が必要な処理場 (箇所)	0%	-	100%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	444 百万円	A	422 百万円	B	0 百万円	C	22 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.0%

交付対象事業

A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
A1-4	下水道	一般	三木市	直接	-	雨水	新設 雨水管渠整備	L=340m	三木市						38	
A1-5	下水道	一般	三木市	直接	-	污水	改築 污水管渠の長寿命化計画策定	調査・計画	三木市						100	長寿命化
A1-6	下水道	一般	三木市	直接	-	污水	改築 処理場の長寿命化計画策定（吉川浄化センター）		三木市						13	長寿命化
A1-8	下水道	一般	三木市	直接	-	污水	改築 污水管渠の長寿命化対策実施	φ300mm他 L=1,890m	三木市						208	長寿命化
A1-9	下水道	一般	三木市	直接	-	雨水	改築 雨水管渠の長寿命化計画策定	調査・計画	三木市						37	長寿命化
A1-10	下水道	一般	三木市	直接	-	污水	改築 污水マンホール蓋の長寿命化計画策定	調査・計画	三木市						4	長寿命化
A1-11	下水道	一般	三木市	直接	-	污水	改築 処理場の長寿命化対策実施（吉川浄化センター）	設計	三木市						12	長寿命化
A1-12	下水道	一般	三木市	直接	-	污水	改築 処理場の耐震化計画策定（吉川浄化センター）	耐震診断	三木市						10	
小計（下水道事業）											422					
合計											422					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

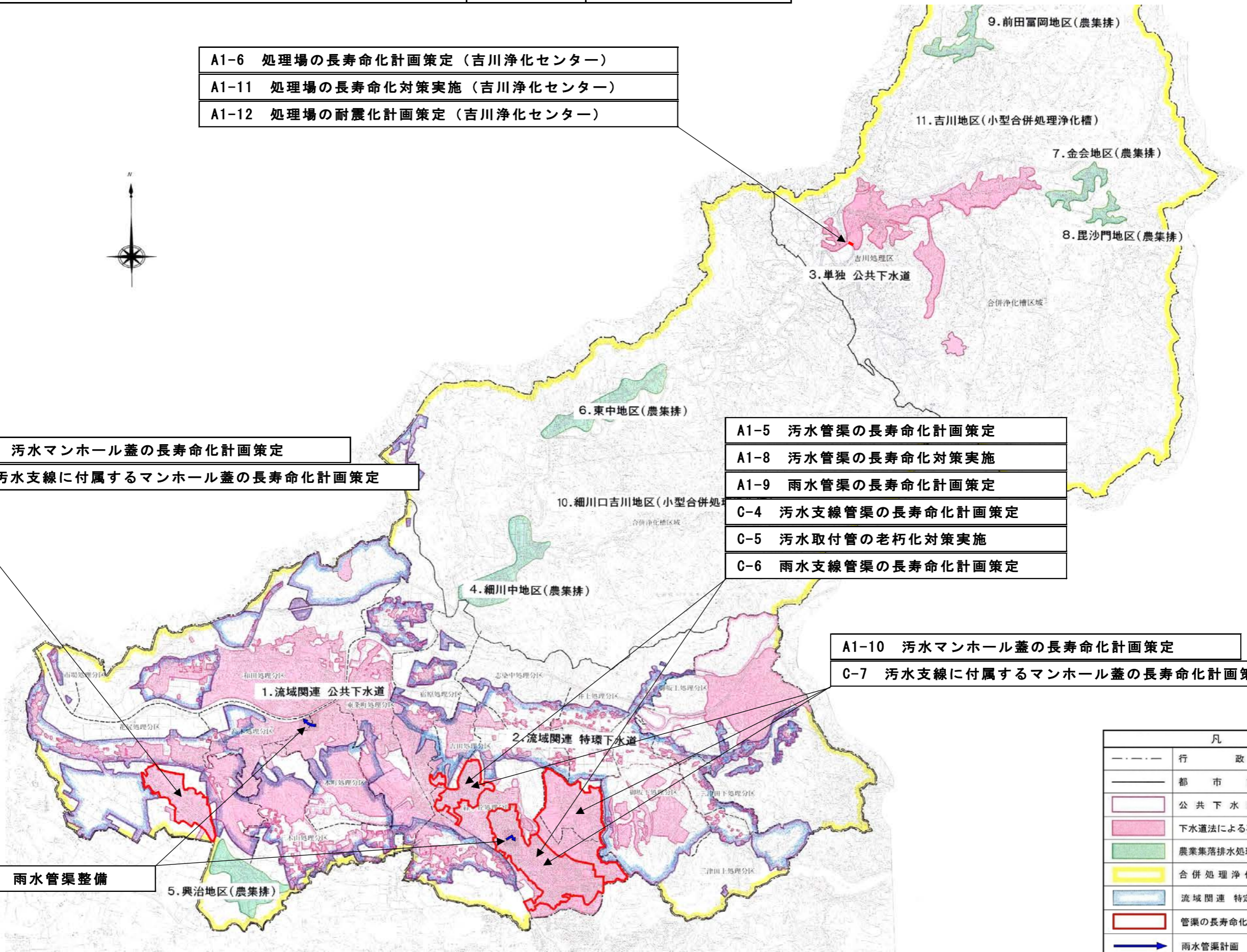
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C-4	下水道	一般	三木市	直接		污水改築	污水支線管渠の長寿命化計画策定	調査・計画	三木市						2	
C-5	下水道	一般	三木市	直接		污水改築	污水取付管の老朽化対策実施	取付管	三木市						14	
C-6	下水道	一般	三木市	直接		雨水改築	雨水支線管渠の長寿命化計画策定	調査・計画	三木市						5	

C-7	下水道	一般	三木市	直接		污水改築	污水支線に付属するマンホール蓋の長寿命化計画策定	調査・計画	三木市					1
合計													22	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
C-4	基幹事業 (A1-5) 及び (A1-8) である主要な管渠の計画等と支線の計画等を一体的に行うことによって、対象地区の長寿命化対策が促進される。													
C-5	基幹事業 (A1-8) である本管の対策と取付管の老朽化対策を一体的に行うことによって、対象地区の長寿命化対策が促進される。													
C-6	基幹事業 (A1-9) である主要な管渠の計画等と支線の計画等を一体的に行うことによって、対象地区の長寿命化対策が促進される。													
C-7	基幹事業 (A1-10) であるマンホール蓋の計画等について、主要な管渠に付属するものと支線に付属するものの計画等を一体的に行うことによって、対象地区の長寿命化対策が促進される。													

A'	751 百万円	B'	0 百万円	C'	192 百万円	効果促進事業費の割合 (C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))	15.4%
----	---------	----	-------	----	---------	---	-------

計画の名称	三木市における安全・安心な下水道施設の構築 (防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	兵庫県 三木市



A1-6 処理場の長寿命化計画策定 (吉川浄化センター)  
A1-11 処理場の長寿命化対策実施 (吉川浄化センター)  
A1-12 処理場の耐震化計画策定 (吉川浄化センター)

A1-10 汚水マンホール蓋の長寿命化計画策定  
C-7 汚水支線に付随するマンホール蓋の長寿命化計画策定

A1-5 污水管渠の長寿命化計画策定  
A1-8 污水管渠の長寿命化対策実施  
A1-9 雨水管渠の長寿命化計画策定  
C-4 汚水支線管渠の長寿命化計画策定  
C-5 汚水取付管の老朽化対策実施  
C-6 雨水支線管渠の長寿命化計画策定

A1-10 汚水マンホール蓋の長寿命化計画策定  
C-7 汚水支線に付随するマンホール蓋の長寿命化計画策定

A1-4 雨水管渠整備

凡 例	
-----	行政区域
————	都市計画区域
□ (pink)	公共下水道全体計画区域
□ (light pink)	下水道法による事業計画区域
□ (green)	農業集落排水処理施設による集合処理区域
□ (yellow)	合併処理浄化槽の個別処理区域
□ (blue)	流域関連 特定環境保全 公共下水道区域
□ (red)	管渠の長寿命化計画区域
→ (blue)	雨水管渠計画

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(水の安全・安心基盤整備(下水道関係))

計画の名称：三木市における安全・安心な下水道施設の構築(防災・安全)

事業主体名：三木市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)上位計画(総合計画、生活排水処理計画、都市計画等)との整合性が確保されている。	○
2)下水道の諸計画(合流式下水道緊急改善計画等)との整合性が確保されている。	○
3)関連する諸計画(河川整備計画等)と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
2)必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 整備計画の効果及び効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
④定量的指標の明瞭性	
1)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
⑤目標と事業内容の整合性	
1)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2)目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
⑥事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
⑧地元の機運	
1)事業実施に向けた機運がある。	○
2)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○